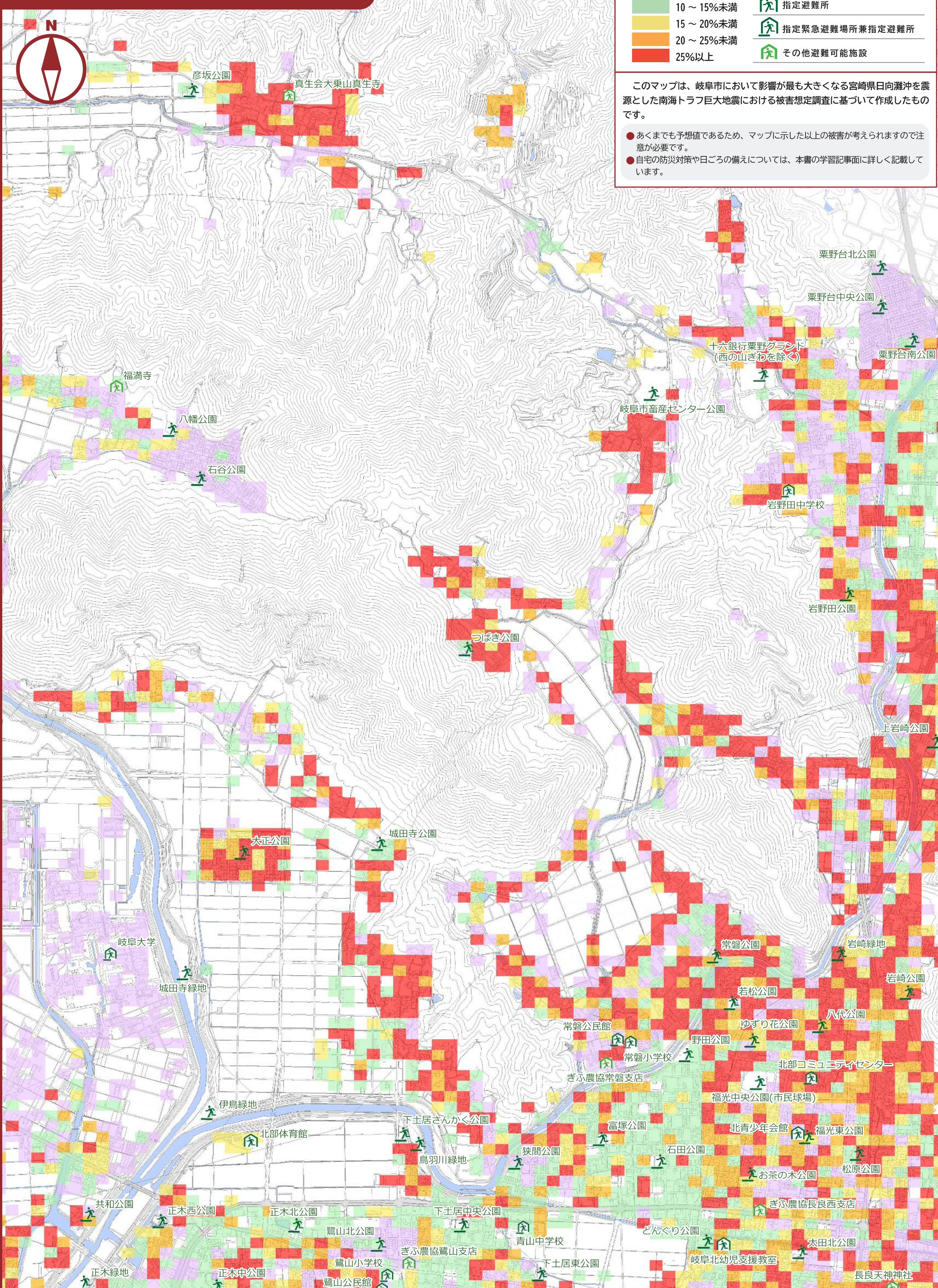




# 地震ハザードマップ

## 建物倒壊危険度マップ



建物の倒壊危険度

0 ~ 10%未満
10 ~ 15%未満
15 ~ 20%未満
20 ~ 25%未満
25%以上

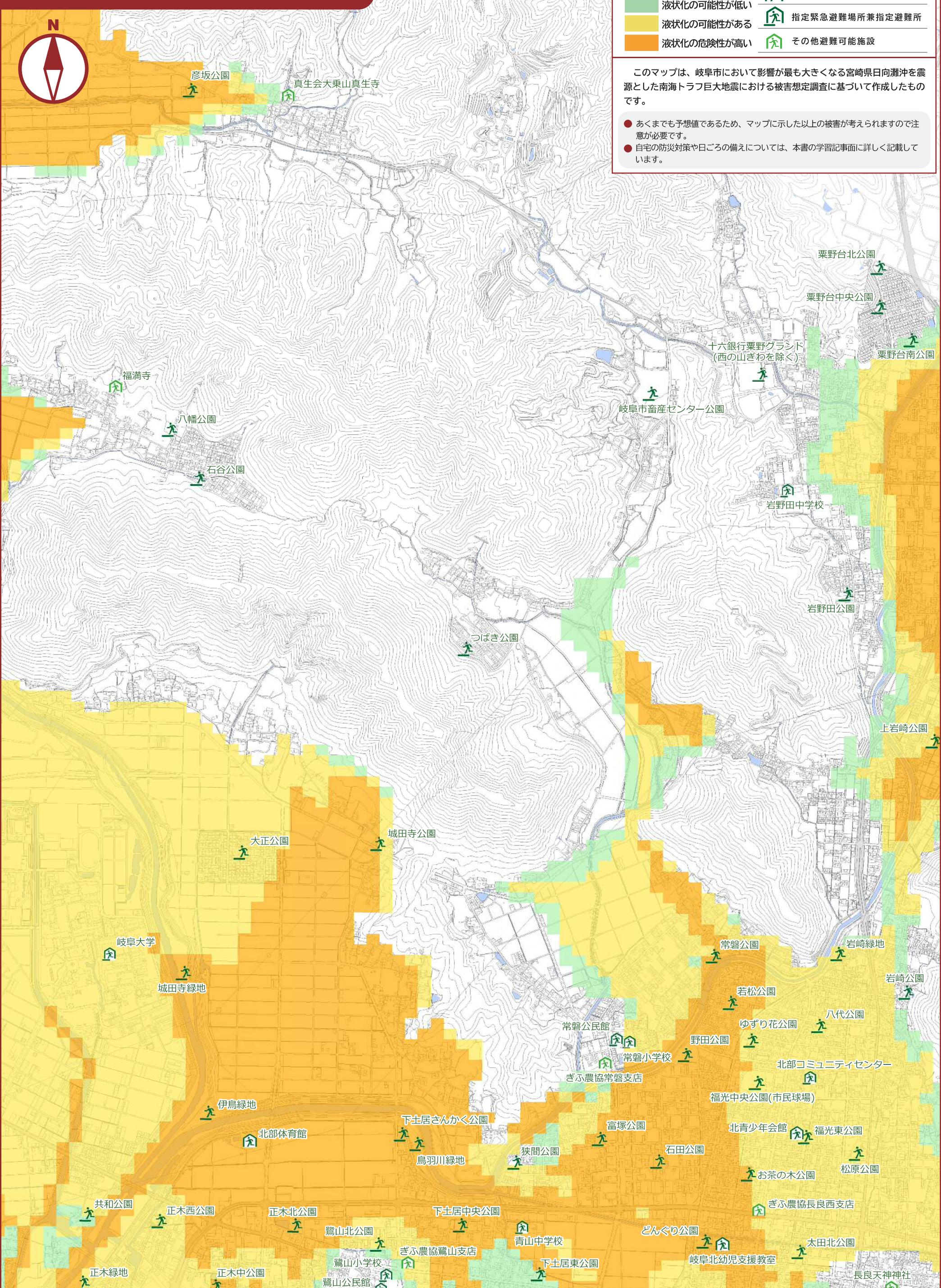
- このマップは、岐阜市において影響が最も大きくなる宮崎県日向灘沖を震源とした南海トラフ巨大地震における被害想定調査に基づいて作成したもので

- あくまでも予想値であるため、マップに示した以上の被害が考えられますので注意が必要です。
  - 自宅の防災対策や日ごろの備えについては、本書の学習記事面に詳しく記載しています。



# 地震ハザードマップ

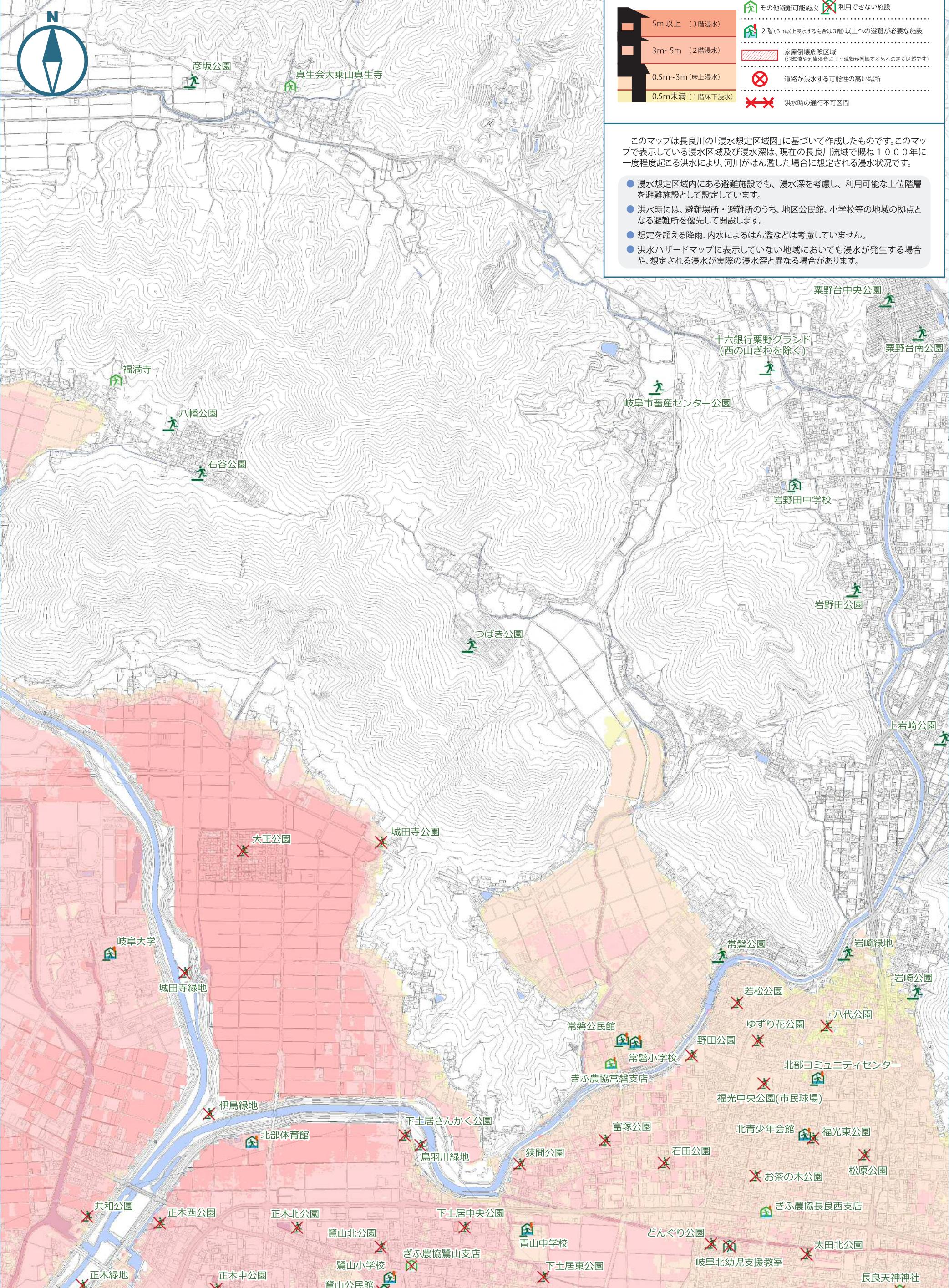
# 液状化危険度マップ





# 洪水ハザードマップ

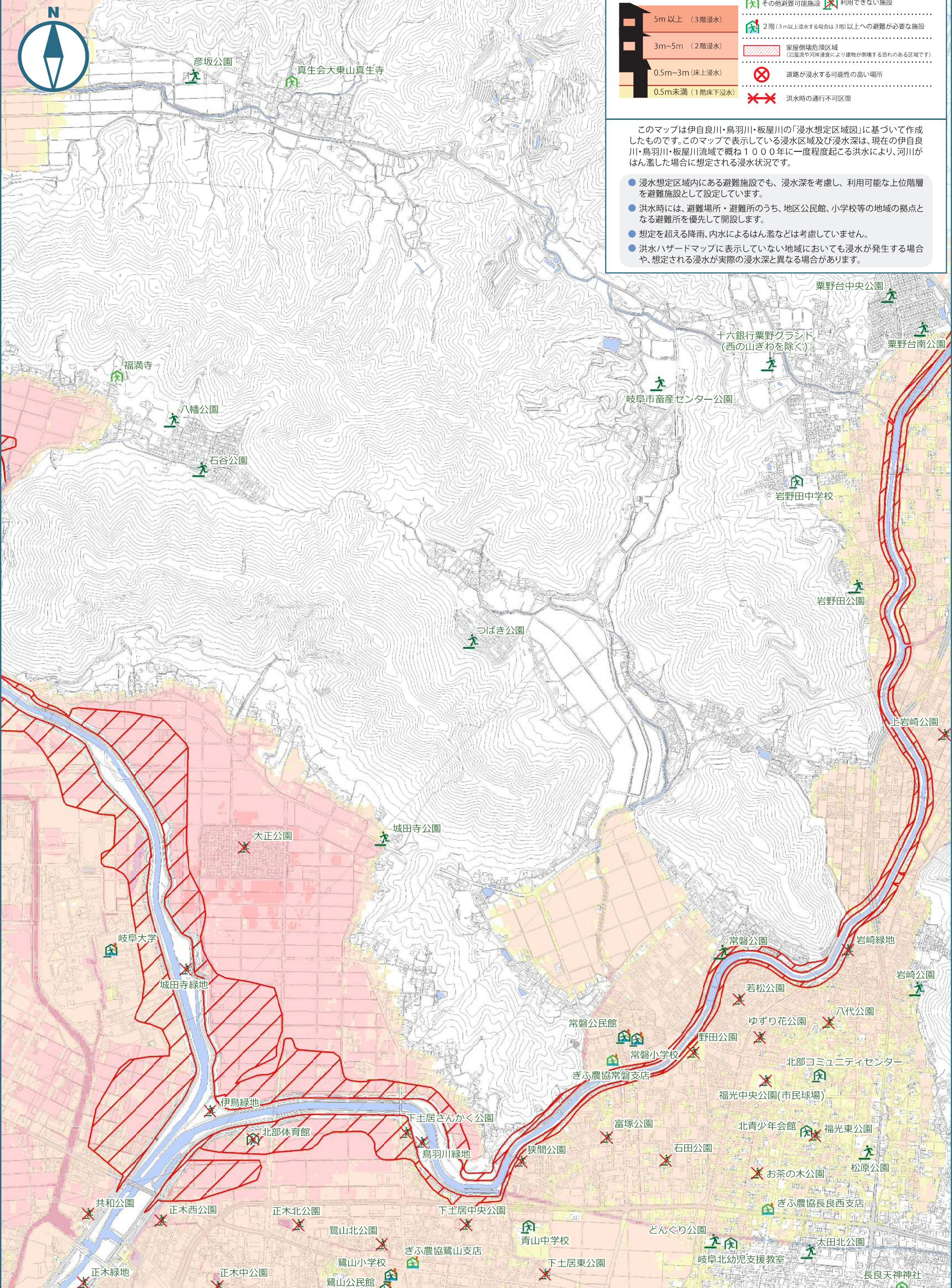
長良川がはん濫した場合



# 洪水ハザードマップ



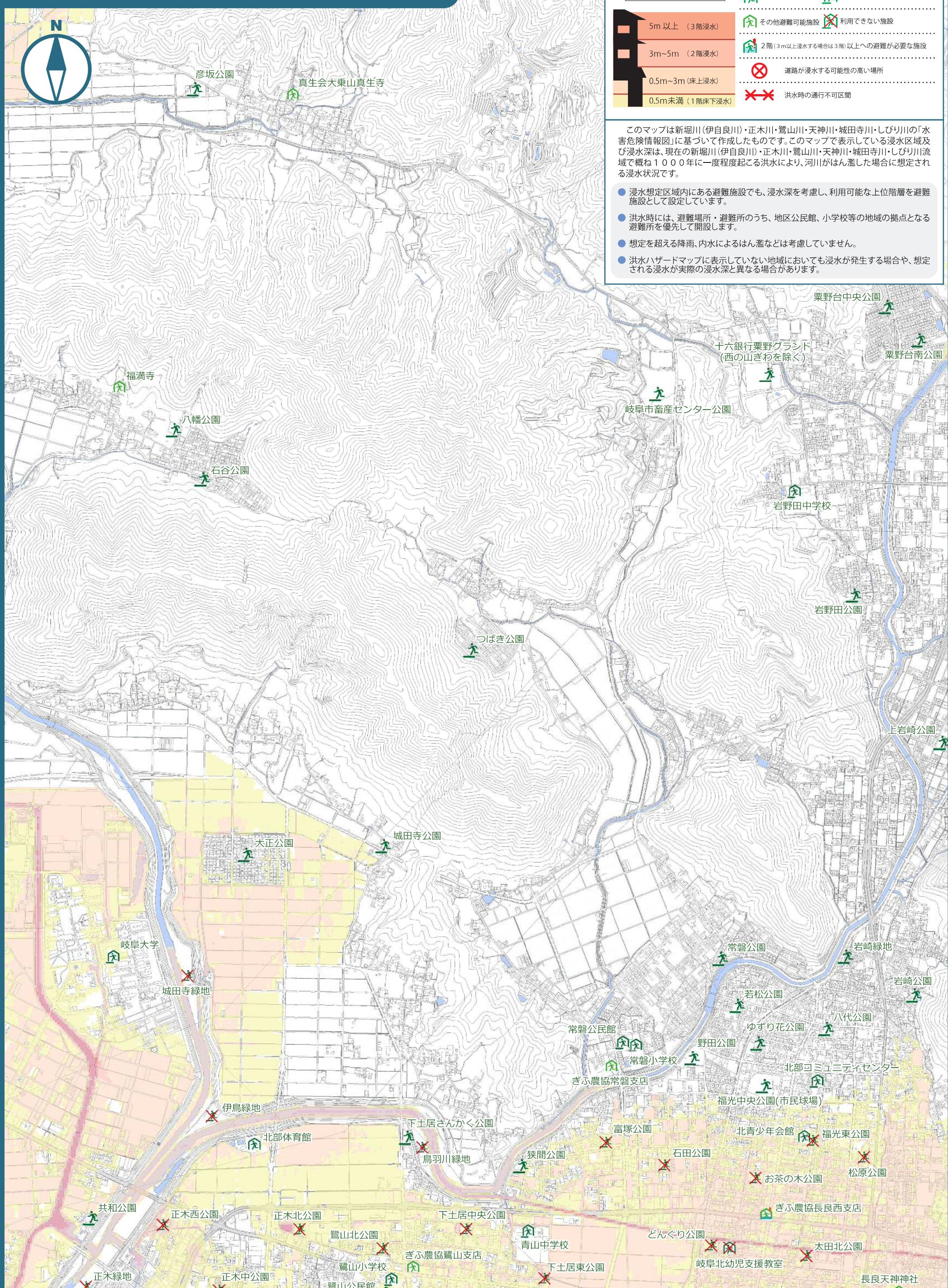
伊自良川・鳥羽川・板屋川がはん濫した場合





# 洪水ハザードマップ

中小河川がはん濫した場合



## 凡例

予想される浸水の深さ

5m以上 (3階浸水)
3m~5m (2階浸水)
0.5m~3m (床上浸水)
0.5m未満 (1階床下浸水)

指定緊急避難場所

利用できない避難場所

指定避難所

指定緊急避難場所兼指定避難所

その他避難可能施設

利用できない施設

2階(3m以上浸水する場合は3階)以上への避難が必要な施設

道路が浸水する可能性の高い場所

0.5m未満 (1階床下浸水)

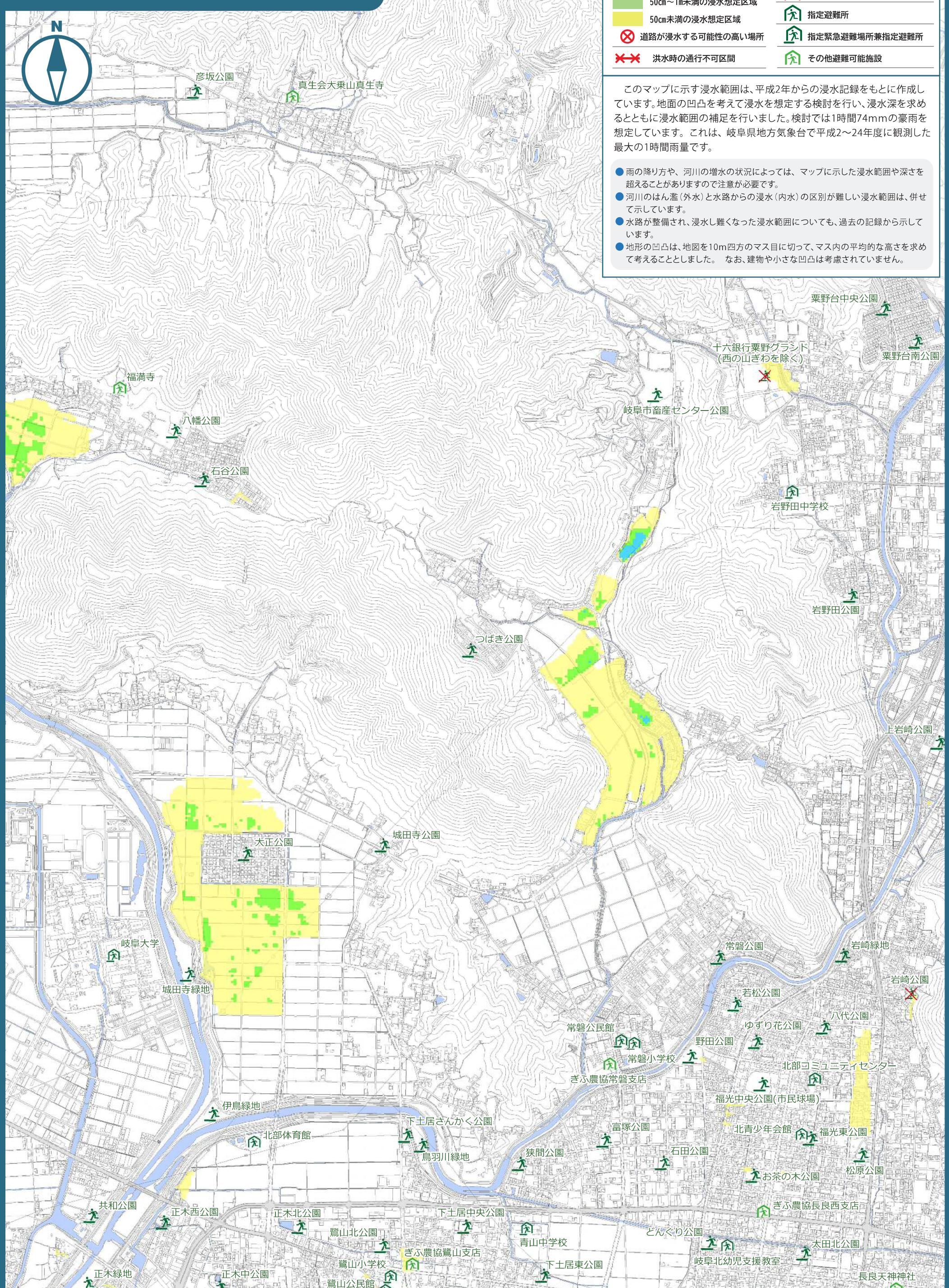
洪水時の通行不可区間

このマップは新堀川(伊良川)・正木川・鶯山川・天神川・城田寺川・しづり川の「水害危険情報図」に基づいて作成したものです。このマップで表示している浸水区域及び浸水深は、現在の新堀川(伊良川)・正木川・鶯山川・天神川・城田寺川・しづり川流域で概ね1000年に一度程度起こる洪水により、河川がはん濫した場合に想定される浸水状況です。

- 浸水想定区域内にある避難施設でも、浸水深を考慮し、利用可能な上位階層を避難施設として設定しています。
- 洪水時には、避難場所・避難所のうち、地区公民館、小学校等の地域の拠点となる避難所を優先して開設します。
- 想定を超える降雨、内水によるはん濫などは考慮していません。
- 洪水ハザードマップに表示していない地域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際の浸水深と異なる場合があります。



# 内水ハザードマップ





# 土砂災害ハザードマップ

